

熊中

クールないかした生徒
 マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒
 ニーズがある(必要とされる)生徒
 シーンを創れる場面を演出できる生徒

校長室だより
 第 19 号
 北九州市立熊西中学校
 校長 江口 恵子

作文コンクールで県知事賞に輝く

福岡県内中学校の頂点に立ち



二月十三日(土)、本校は第五十一回「JA共済」小・中学生作文コンクールで、昨年度に続いて、最優秀賞の福岡県知事賞を受賞しました。

このコンクールは、県下最大の作文コンクールで、福岡県内の小・中学生が、それぞれ自由なテーマで書いた作品の応募総数は十五一九五点、参加校は四五二校に上ります。

その中から一等賞の福岡県知事賞に輝き、それも二年連続というのには、すばらしいことです。コンクールには、全校生徒が校内弁論大会に向けて書いた作文を応募しましたので、この快挙を皆さんと共に、喜び合いたいと思います



今後、生徒が自分の生活や社会を見つめ、おっくうがらずに文章を書くことができるようにしていくつもりです。それが、本校の特色として受け継がれ、やがて伝統になっていくように願っています。

個人賞は、以下のとおりです。

- 最優秀賞(福岡県知事賞)
 - 二年 小坂 梨聖
 - 二年 中芝 光功
- 最優秀賞(全農連会長賞)
 - 一年 西尾 光太郎
- 最優秀賞(日本農業新聞賞)
 - 三年 山口 暖花
- 優秀賞
 - 一年 三砂 葉奈
- 入選
 - 三年 中村 瑛人
 - 三年 村中 奈津美
 - 三年 田中 香鈴
 - 二年 安岡 未紗希
 - 二年 古後 春加
 - 二年 間内 凱
 - 二年 牟 知慧

全校生徒による俳句づくり

- 一年 杉山 弥優
- 一年 高瀬 翔

- 一年 岩田 穂乃
- 一年 馬場 泉帆

本校は昨年度から俳句づくりに取り組んでいきます。その成果が少しずつ表れてきたのか、俳句大会での受賞者が以下のように増えてきました。

- ・ 榎山 荘子ども俳句大会 特別賞(芳賞教育文化振興会賞)
- ・ 清水の舞台から見る新樹かな 三年 岡住 拓未 秀作(深川淑枝選)
- ・ 風が吹き手からはなれた夏帽子 一年古賀愛奏美 佳作

- ・ 新緑が古都つつみこむや わらかに 三年菊竹 桃子
- ・ 新緑が真つ赤な鳥居を引き立たせ 三年 塚盛 可蓮
- ・ 蝸牛葉っぱの裏に遊歩道 二年 溝口 茜

・ 朝涼の海のおいに目が覚める 一年 伊藤 涼太

・ 新樹からささやき声が聴こえるよ 一年原さくら

ひびしん俳句大賞

ひびしん理事長賞



・ 夏休み一泊二日まくらなげ 二年 森 光輝

・ 帯しめて心がおどる夏祭り 一年 古賀 愛奏美

今後俳句づくりを通して自然を見つめ、言葉をも磨くよう指導していきます。